▼雨の強さと降り方

気象庁が発表する天気予報等で使用する予報用語の中で、雨の強さと降り方等について次のとおり表わされています。大雨の際は、避難等の目安として、参考にしてください。

雨の強さと降り方早見表

1時間雨量(mm)	予報用語	人の受けるイメージ	災害発生状況
１０～２０未満	やや強い雨	ザーザーと降る	長く続く時は注意が必要
２０～３０未満	強い雨	どしゃ降り	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模な崖崩れが始まる
３０～５０未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ、崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要
５０～８０未満	非常に激しい雨	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	土石流が起こりやすい 多くの災害が発生する
８０以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要

▼早めの避難を

大雨や長雨は、土砂災害を引き起こします。大雨・洪水警報や土砂災害警戒情報が発令された時は、家の周りの状況に注意し、危ないと思ったら、早めに避難してください。

また、避難の際は、高齢者や子供、身体障害のある方の手助けが必要です。常に声をかけ合い、災害から身を守りましょう。

避難用具の準備

避難所・避難経路の確認

防災情報の確認

声をかけ合って早めに避難

■問い合わせ
総務課　消防防災班
☎０８２０（７４）１０００

中山間地域等直接支払い制度について

■問い合わせ　農林課　農林振興班
☎０８２０（７９）１００２

【制度の概要】

この制度は、中山間地域等の農地や営農を守り多面的機能を保全するため、集落協定を結んだ集落や個別協定を結んだ認定農業者等に交付金を交付する制度です。

集落において本制度を活用することにより、地域活性化に向けた取組ができます。

【交付金の活用について】

集落協定に基づいて毎年集落に交付される直接支払交付金の使途については、協定参加者の皆さんが話し合って決めていくことが大切です。

この交付金を活用して自分達が暮らす地域をさらによりよいものとしましょう。

【平成23年度実施状況】

平成23年度は33の集落で取組が行われました。地区ごとの集落協定の実施状況は下表のとおりです。

◆平成 23 年度集落協定実施状況

地域	協定数	参加農家数	協定対象農用地面積（㎡）			交付金（円）	取り組み内容と活動協定数																										
							集落マスタープラン											農業生産活動															
							目標・活動計画											農用地						管理方法				多面的機能を増進する活動						
																								水路		農道								
			田	畑	計		協定農用地の拡大	機械・農作業の共同化	高付加価値型農業	農産物等の加工・販売	農業生産条件の強化	新規就農者の確保	認定農業者の確保	多様な担い手の確保	担い手への農地集積	担い手への農作業の委託	集団的持続可能な体制整備	利用権設定・農作業の委託	耕作放棄地の復旧・林地化	防虫対策等の保全管理	定期的な点検を行う	鳥獣被害防止対策	林地化等	簡易な基盤整備	水路清掃	草刈り	簡易補修	草刈り	周辺林地の下草刈	棚田オーナー制度・体験農園	景観作物の作付	土壌流亡に配慮した営農	体験民宿の実施	魚類・昆虫類の保護	鳥類の餌場を確保
久賀	1	8	2,212	79,796	82,008	525,596	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0
大島	25	327	456,670	492,923	949,593	10,368,921	5	4	6	1	4	9	3	0	1	4	13	10	2	10	17	2	2	9	22	22	16	23	21	1	10	2	0	1	0
東和	1	2	0	10,469	10,469	96,314	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
橘	6	57	0	239,605	239,605	2,109,294	0	0	4	0	0	2	4	1	0	1	3	3	0	5	5	2	0	2	5	6	3	6	4	2	4	2	0	0	0
合計	33	394	458,882	822,793	1,281,675	13,100,125	5	5	11	1	4	12	7	1	1	5	18	13	2	17	22	5	2	11	29	30	20	31	27	4	14	4	0	1	0